アルゴリズムとデータ構造 問題 2 のプログラム実装の考え方 学籍番号 21115 氏名 土肥 海斗 提出日 2024 年 6 月 28 日

考え方

(1) 教科書の考え方に基づいて再起的な和の計算をおこなった.整数を配列に格納しそれを関数内で和にする.

工夫した点

(1) 再帰的にするために配列の最初と終わりから配列を2つに分けその2つを足す. 配列が一つになるまで再起を繰り返すようになっている.

注意点

(1)再帰的になるように引数を定義しなければいけない.